

「験震時報」投稿上の注意事項

- (1) 報文は原稿用紙に横がきではっきりと書き、当用漢字新かなづかいを用いる。句読点・，は1字分あけ、数字はアラビア数字とする。記号 a と α と d , C と c , e と l と p , 0 と o と o , r と γ , S と s , W と w , Z と z と 2 , などはまぎらわしいから特にはっきり書く。
- (2) 論文の長さは当分のあいだ付図を含めて刷上がり6ページ以内、ただし、付図は刷上がり合計2ページ以内とする。
- (3) 報文が論文の場合、その初めに欧文の題目および内容要約をつけ、図、写真および表の説明は欧文とする。報文が報告の場合は欧文の題目をつける。
- (4) 付図は濃いすみで、ていねいに書き、むだな余白のないようにする。図中の文字は縮めても、小さくなりすぎないように大きめに書く。注や説明はわく外に活字にくめるようにする。
- (5) 写真は鮮明なもので、変色やよごれのないものにかぎる。
- (6) 欧文題目、内容要約および原稿中の欧文は活字体でわかりやすくかく。欧文題目、内容要約はできらばタイプライターで打つ。

昭和30年9月25日 印刷

昭和30年9月30日 発行

編集兼
発行者

中央気象台

東京都千代田区大手町一ノ七

印刷者 原 田 富 次

印刷所 内外印刷株式会社
東京都中央区八丁堀二ノ四